コロナ禍で注目された企業 #3

日新薬品工業（滋賀県）

新型コロナウイルスとの戦いは、この未知のウイルスと向き合い共存する、ウィズコロナの段階に突入した。日常生活は「新しい生活様式」の中で徐々に回復しつつあるが、元の水準へ完全に戻るには遠く、第2波の流行も予断を許さない。だが、ウイルスを地上から消し去ることはできないとしても、感染を限りなく口に近づけることはできる。その一助として注目したいのが、口腔内を殺菌・消毒するトローチ剤だ。一般用トローチ剤のトップメーカー・日新薬品工業（未社滋賀県）は、その有用性を「くすりの町」甲賀市から発信し続けている。

「くすりの町」甲賀から トローチ剤の有用性を発信

地場産業を支えて94年 「薬業は江戸時代からの家業」

甲賀という地名から真っ先に想起されるのは忍者だろう。その昔、戦国の世を駆け抜けた甲賀流忍者の末裔（まつえい）が、「薬なしの豊富な知識と経験を生かし、今でも国へ売り歩いたという。甲賀市が配置薬の中心地だった。

日新薬品工業の代表取締役社長、大北正人氏の先祖も江戸時代からこの地で薬業を営んでいた。大北氏いわく、「薬業は大北家の家業」。江戸末期、製造しており、トローチ剤の生産設備も持っていた。

社内に「トローチ課」新設 信頼を得てトップメーカーに

2001年に社長に就任した大北氏は「小さな製薬会社が生き残るには、トローチ剤は味と舌触りが重要である。独自の技術と生産設備の鈴を集め、ニッチ（すきま）なナンバーワンになれる分野は何か？」と考えたという。

口のロでなめて溶かすトローチ剤は味と舌触りが重要である。独自の技術と生産設備の鈴を集め、ニッチ（すきま）なナンバーワンになれる分野は何か？」と考えたという。

口のロでなめて溶かすトローチ剤は味と舌触りが重要である。独自の技術と生産設備の鈴を集め、ニッチ（すきま）なナンバーワンになれる分野は何か？」と考えたという。

日新薬品工業は、OEMを合わせた同社製品の市場シェアは3割程度に上る。

日新薬品工業社長・大北正人氏

店頭では仕掛けなどを活用して販促

オンリーワンの研究努力が生んだトローチ剤

（7面へ続く）

（6面から続く）

のメーカーに依頼して適的ども限られ、中でも検査機は導入し、不良品ゼロを実現。品質面でも自信を深めた。トローチ剤の生産設備は非常に複雑かつ高価。そのためけて来て大手は参入しないだろうという確信があった。

一般用トローチ剤のトップメーカーに上り詰めたのは、こうした企業努力のたまものと言える。

口腔内の殺菌・消毒で脚光 「マスク・手洗いと共に重要」

そのトローチ剤が脚光を浴びている。コロナ禍がきっかけだ。閉鎖感症ニウム塩化物水和物と抗炎症成分アズレンスルホン酸ナトリウムがコロナウイルスに有効であるとの効果の検証はされていないが、「口腔内の殺菌作用の観点から注目された。

18年4月、日本防菌防黴（ばい）学会の学会誌に掲載された論文が、コロナウイルスを含む感染ルートの一つであるとの研究ではないが、「口腔内の殺菌」と「喉から感染するウイルスを幅広く殺菌できる効果を確認した」という一文は、コロナ禍の日本で注目を集めるには十分だった。この情報がSNSに広まったことから、消費税増税などの影響で落ち込んでいたトローチ剤の売り上げが低迷前の1・5～2倍まで持ち直したという。

同社は、DgSからいう合わせが少なくないとおらず、新型コロナウイルスに効くとは言いがたいという。大北氏は「残念ながら、『トローチ剤はコロナに効きますか？』という面から医学的な検証はできない」と前置きした上で、口の中を常に清潔に保つことは非常に有効と指摘する。

「コロナウイルスは気道から肺に入ると肺炎を引き起こすが、胃へ行くと胃酸の力である程度は死滅する。つまり、トローチ剤を常に口に入れてなめておくことで、唾液と共に胃に流れて死滅するというわけだ。口の中を殺菌してコロナウイルスの繁殖を抑えることは、マスク着用や手洗いと共に重要だ」と大北氏は分析する。

喉あめユーザーにも普及へ 医薬品としてのメリット訴求

トローチ剤の比較対象だが、同社は「味や舌触りはもちろんのこと、有効成分その効能をしっかりと示し、医薬品であることのメリットを訴求していくことで、喉あめユーザーをトローチ剤へ誘（いざな）う」と販促に意欲的だ。

DgSにおいては、製品に貼付する「口腔内の殺菌・消毒」というアテンションシールの一つ「甲賀口錠（ないじょう）」を製作。「殺菌・消毒」という日本赤十字社などに寄付する。ここでも「コロナ禍の経験」が生きている。

一方、世界的内のセルフメディケーションに感染拡大防止に向けた対策が積極的に打ち出される中、忍者をモチーフとした同社の看板製品「強酸」。

DgSからの問い合わせが多くなったことから、消費税増税などの影響で落ち込んでいたトローチ剤の売り上げが低迷前の1・5～2倍まで持ち直したという。

同社は、DgSからいう合わせが少なくないとおらず、新型コロナウイルスに効くとは言いがたいという。大北氏は「残念ながら、『トローチ剤はコロナに効きますか？』という面から医学的な検証はできない」と前置きした上で、口の中を常に清潔に保つことは非常に有効と指摘する。

「コロナウイルスは気道から肺に入ると肺炎を引き起こすが、胃へ行くと胃酸の力である程度は死滅する。つまり、トローチ剤を常に口に入れてなめておくことで、唾液と共に胃に流れて死滅するというわけだ。口の中を殺菌してコロナウイルスの繁殖を抑えることは、マスク着用や手洗いと共に重要だ」と大北氏は分析する。

錠剤の高い製品を生み出すトローチ剤の製造ライン

徹底した検査不良品ゼロを実現し、品質面でも自信

製品添付のアテンションシール

甲賀市DATA

自治体名としての正式な読み方は「こうか」。人口約9万人（2020年5月末現在）。甲賀流忍者や信楽焼などが全国的に知られる。薬の知識に長けた忍者をルーツに薬業が盛んで、市内には15社のメーカーが存在する。

会社概要

- ■本社所在地：滋賀県甲賀市甲賀町田堵野80・1
- ■代表取締役社長：大北正人
- ■創業：1926（大正15）年4月
- ■設立：1947（昭和22）年10月
- ■資本金：9900万円
- ■従業員数：97人（2020年7月現在）
- ■事業内容：一般用医薬品の製造および販売・医薬品配置販売業